

がけ崩れ、伯備線不通

日野 現場付近で余震を観測

二十八日午後四時二十分ごろ、日野町下黒坂のJR伯備線で、線路わきの土砂が防護柵(高さ一・二

日野のJR伯備線で土砂崩れ

二十八日午後四時二十

分ごろ、鳥取県日野町のJR伯備線・黒坂―根雨間で約十立方メートル(高さ十五メートル)の土砂が流入しているのが見つかり、JR米子支社は同区間で列車の運転を見合わせた。同支社によると、土砂は土留めさくで止まり、線路内には影響がなかった。午後七時二十五分ごろ、同所でさらに土砂崩れが発生、約二百立方メートル(幅十三メートル、高さ十九メートル)の土砂が流入し線路をふさいだ。午後九時現在で、特急「やくも」など五本が運休したほか、十一本が部分運休、二本に遅れ、約千七百五十人に影響が出た。

(10月29日 日本海新聞抜粋)

のりが幅約十メートルにわたって崩れ、約十立方メートルの土砂が防護柵(高さ一・二にわたり、JR西日本米子支社は土砂を撤去するた

め、生山―根雨間の運転を見合わせている。午後七時二十五分ごろにも土砂が崩れた。

午後九時現在、復旧のめ

どはたっておらず、同支社は同区間で臨時バス八台を出し、乗客を代替輸送している。

同支社によると、現場では、県西部地震が起きた六日にも土砂崩れがあり、地肌がむき出しになったため、シートで覆い、防護柵を設置していた。

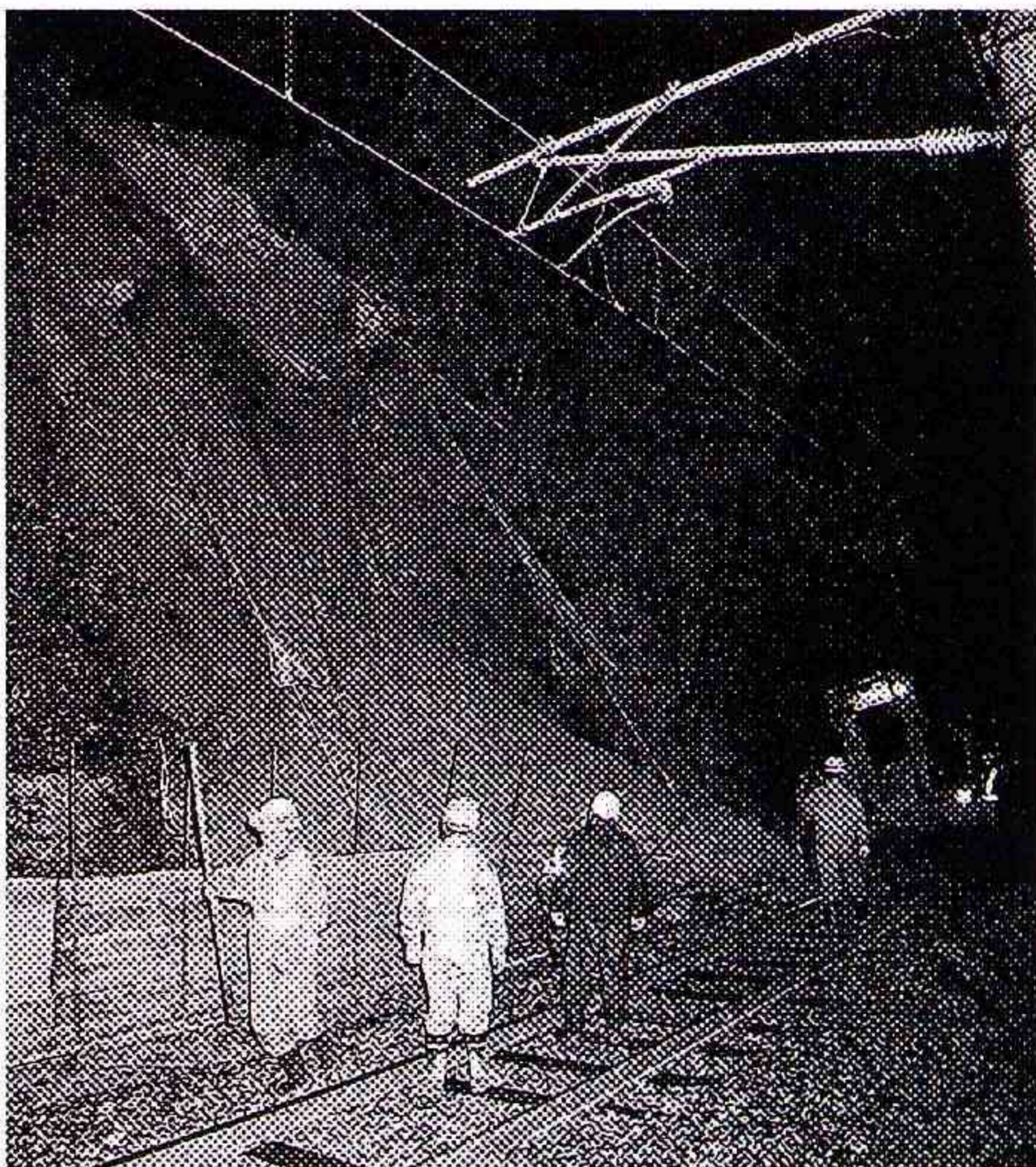
米子測候所は同町で、この日午前中に二回、午後一回、震度2以下の余震を観測している。

土砂崩れ 線路埋まる

鳥取・日野

二十八日午後四時二十分ごろ、鳥取県日野町のJR伯備線黒坂―根雨駅間で、土砂崩れが発生しているのを点検中のJR西日本米子支社員が発見。同支社は同線生山―根雨駅間で列車の運行を見合わせ、バスで代替輸送を行っている。同支社によると、同区間では今月六日の鳥取西部地震で落石や土砂崩れが発生したため、社員が線路の点検を行っていた。復旧時期のめどは立っていないという。

(10月29日 産経新聞抜粋)



土砂崩れがあった現場で復旧作業を行う作業員(28日午後6時30分、日野町下黒坂で)

(10月29日 読売新聞抜粋)

伯備線で土砂崩れ

黒坂―根雨間 運転見合わせ

二十八日午後四時二十分ごろ、鳥取県日野町根雨、JR伯備線・根妻トンネル近くで土砂崩れがあり、出雲市発岡山行きの特急スーパーやくも22号など四本が黒坂―根雨間で運転を見合わせた。JR米子支社は、代替バス八台で乗客を最寄りの生山、根雨各駅に移送、折り返し運転を行った。午後七時二十四分になって、同じ場所ですらに土砂崩れがあり、午後八時半現在、復旧の見通しは立っていない。

同支社によると、最初の土砂崩れは小規模で、線路わきに設置されていた土留めさくで止まった。しかし二度目は約二百立方メートルの土砂が崩れ落ち、線路を覆ったという。

(10月29日 山陰中央新報抜粋)



山が崩れ落ち、線路を埋めた土砂を撤去する作業員ら＝28日午後10時45分ごろ、鳥取県日野町根妻、J R伯備線根妻トンネル付近

復旧めど立たず J R伯備線

J R伯備線は二十九日、八日夜に発生した土砂崩れで、鳥取県日野町根妻で二十一日、特急スーパーやくも

などが生山一根本雨間で部分運休となり、J R米子支社は両駅間に代替バスを走らせた。三十日も同様に対応する。現場では復旧作業が続いたが、運転再開の見通しは立っていない。また、伯備線を通る寝台

(10月30日 山陰中央新報抜粋)

J R伯備線の復旧作業難航

不連続く

J R伯備線は二十八日夕に日野町下黒坂で起きた土砂の崩落で、日南町生山一根本雨間の運行を見合わせているが、二十九日になっても土砂の撤去は終わらず作業は難航している。

J R西日本米子支社によると、この影響で寝台特急「サンライズ出雲」の上下線と普通一本の計三本が運休。特急三十一本、普通二十一本が部分運休し、五千

(10月30日 読売新聞抜粋)

百人に影響が出た。同区間は臨時バスで代替輸送しているが、三十日も終日代替輸送する予定という。

◆ J R伯備線、復旧作業難航 ◆

鳥取県日野町内の土砂崩れで28日夕から不通になっているJ R伯備線根雨一根本雨間の復旧作業は29日も難航、終日ダイヤが乱れた。J R西日本は代替バスを運行した。

28、29両日で特急など8本が運休したほか、部分運休は計63本にのぼった。復旧は30日以降になる見込み。

【田中 成之】

(10月30日 毎日新聞抜粋)

土砂崩れのJ R伯備線 懸命の復旧作業続く

生山一根本雨

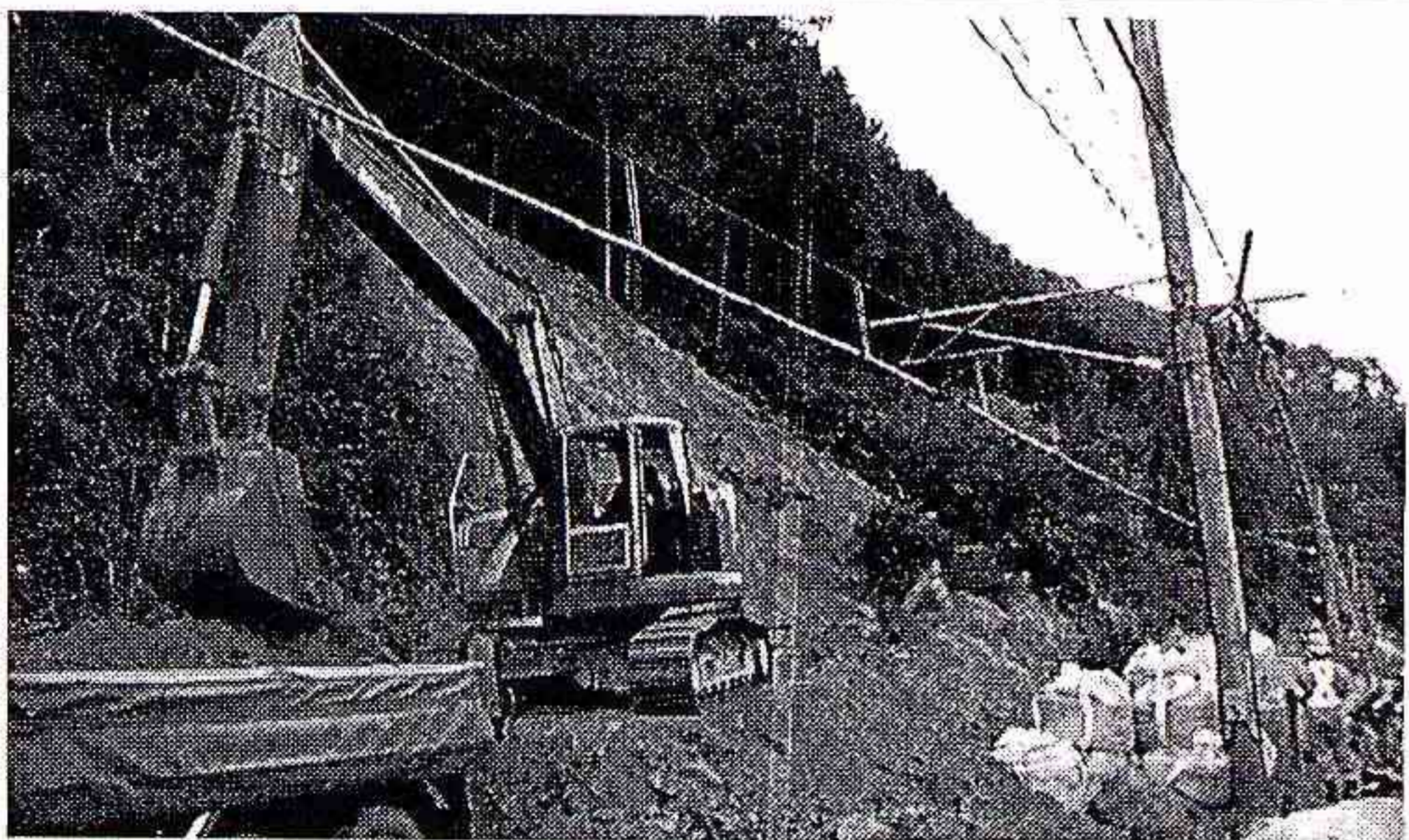
土砂崩れのため、二十八日から生山一根本雨間で不通になっているJ R伯備線は、二十九日も懸命の復旧作業が続けられたが、復旧の見通しは立っていない。J R米子支社は三十日も同区間でバスによる代替輸送を行う。現場は、鳥取県日野町下黒坂の根妻トンネル付近で、六日の県西部地震で崩壊した場所。余震や雨の影響で山の斜面がゆるみ、二十八日に二度の土砂崩れがあり、合わせて約二百立方メートルが線路内などに流入した。

(10月30日 日本海新聞抜粋)

J R伯備線 土砂崩れ 復旧見通し立たず

日野町下黒坂のJ R伯備線で二十八日あった土砂崩れで、J R西日本米子支社は二十九日も、約三十人の作業員が早朝から土砂を撤去するなど復旧作業を続けている。

しかし、二次災害の恐れもあって作業を慎重に進めており、復旧の見通しは立っていない。このため、特急寝台一サ



崩れた土砂を重機で取り除く作業員ら＝日野町下黒坂のJ R伯備線で

(10月30日 朝日新聞抜粋)

復旧進まず

鳥取のJ R伯備線土砂崩れで列車運休、約五千人に影響が出ている。同支社は三十日も根雨一根本雨間で列車の運行を見合わせ、代替バスを運行。特急スーパーやくも「やくも」については、両駅間を代替バスと列車が接続したダイヤで運転する。

(10月30日 朝日新聞抜粋)

わせ、代替バスを運行する。特急「スーパーやくも」「やくも」については、両駅間を代替バスと列車が接続したダイヤで運転する。

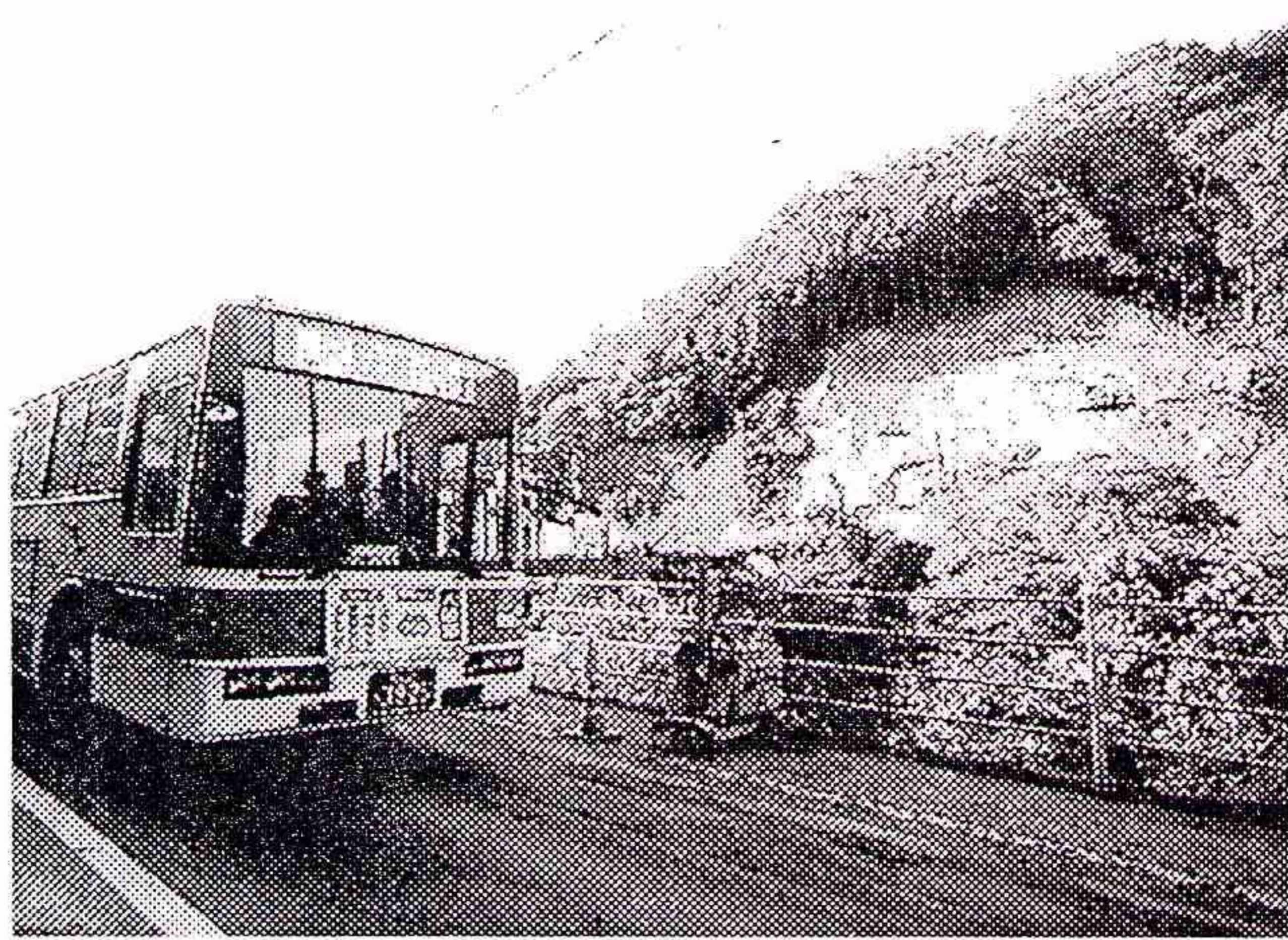
あす運転再開へ

伯備線 根雨―生山間 復旧作業が急ピッチ

JR伯備線根雨―黒坂間で28日に起きた土砂崩れで、復旧作業は30日も続き、根雨―生山間が不通となっている。列車は根雨と生山間で折り返し運転、根雨―生

山間はバスで代行運転した。JR米子支社は11月1日には、運転再開できるとみている。同支社によると、28日に流出した土砂は約200立方

方だが、今後も山が崩れる恐れがあるため、さらに1500立方分の土砂を削り撤去する必要がある。復旧が遅れているという。このため、寝台特急「サンライズ出雲」は上下線とも運休。特急「スーパーやくも」「やくも」も、途中、バス輸送するなど通常より約1時間遅れている。【武井 澄人】



JR伯備線の土砂崩れ現場(右)付近を通過する代行バス

(10月31日 毎日新聞抜粋)

JR伯備線不通続く

二十八日に鳥取県日野町で発生した土砂崩れのため、生山―根雨間が不通となっているJR伯備線は三十日、復旧作業が続けられた。JR米子支社は十一月一日の運転再開を目指しており、三十一日は同区間でバスによる代替輸送を続ける。現場は日野町下黒坂の根妻トンネル付近で、二十八日に二度の土砂崩れが発生し、土砂が線路を覆った。崩壊した土砂を

(10月31日 日本海新聞抜粋)

新たに1700立方分の土砂の撤去必要 JR伯備線

土砂崩落で二十八日夕から運行を見合わせているJR伯備線の生山―根雨間は三十日も撤去作業が続けられたが、新たに土砂千七百立方分の撤去が必要とわかり、JR西日本米子支社は十一月一日の運転再開を目指し、復旧作業を急いでいる。同支社によると、現場は六日の県西部地震で土砂が崩落した場所で、高さ二十

(10月31日 読売新聞抜粋)

五千五百人に影響があった。

付近の山肌が崩れており、安全確保のため、崩れやすい土砂も取り除くことにした。同区間は臨時バスの代替輸送で対応している。

JR伯備線あす復旧 不通の黒坂―根雨間

二十八日に起きた土砂崩れで不通になっている鳥取県日野町下黒坂のJR伯備線の黒坂―根雨間で来月一日、運転が再開される見通しになった。六日の鳥取県西部地震の際にも土砂崩れがあった場所であるため、線路上だけでなく、斜面の土砂約千五百立方分も同時に取り除いているという。

(10月31日 朝日新聞抜粋)

